

平成23年度 岡山県立高梁高等学校自己推薦による入学者選抜

適性検査 問題用紙

検査 普(1)

【注意】 答えはすべて解答用紙に記入しなさい。

Aya と Tom は同じ中学校に通っている。2人は宿題で高齢化問題についてのレポートを書くことになった。次の英文は、学校の昼休みに2人が偶然出会ったときの会話である。

Aya: Hi, Tom. Have you ①(finish) your homework?

Tom: No, I haven't. Have you?

Aya: No, not yet. I will look (A) some books in the library. I'm going to write about communication with *elderly people. I live with my grandmother. She is very *healthy because .

Tom: I see. Well, I want to know how many elderly people live in Okayama.

Aya: You should also *check the number of young people. There are about 400 students in our school now. But ②there were more students ten years ago. The number of the students is *decreasing.

Tom: Oh, really? That's a big problem. I'd like to know more about it.

③[can / it / I / how / check]? Do you have any good ideas?

Aya: You should use the Internet. You can get a lot of information.

Tom: Thank you. I'll try ④it.

Aya: See you later.

Tom: See you.

(注) *elderly: 年配の *healthy: 健康な *check: ～を調べる *decrease: 減る

1 上の英文について、問1～問6に答えなさい。

問1 下線部①の単語を、最も適当な形に変えて書きなさい。

問2 (A) に入れるのに最も適当なのは、(ア)～(エ)のうちではどれか。

(ア) for (イ) to (ウ) about (エ) with

問3 下線部②を日本語に直しなさい。

問4 下線部③の [] 内の語句をすべて用いて意味が通るように並べかえなさい。

(ただし、文の最初にくる語も小文字で示してあるので、大文字で書き始めること。)

問5 下線部④の it が指す内容を日本語で答えなさい。

問6 に当てはまる内容を考えて、5語以上の英文で書きなさい。

2

(1) 次のア～カの に適当な数または式を記入しなさい。

Aya と Tom が通う中学校の今年度の 1 年生の生徒数は 116 人で、昨年度より 14 人減少した。男女別に見ると、男子は 15%、女子は 4% 減少している。

昨年度の男子の生徒数を x 人、女子の生徒数を y 人とする。今年度の男子および女子の人数を、 x と y を用いて表すとそれぞれ ア 人、 イ 人になる。

今年度の生徒数と昨年度の生徒数の関係を式で表すと、

$$\begin{cases} \text{ウ} = 116 & \dots\dots ① \\ x + y = \text{エ} & \dots\dots ② \end{cases}$$

①, ②を使って、今年度の男子および女子の人数を求めると、男子 オ 人、女子 カ 人になる。

(2) Tom は、インターネットで公開されている岡山県の国勢調査のデータを見つけた。

次の岡山県の人口の推移を示す表を見て、あとの問いに答えなさい。

(人口の単位：万人)

年	総人口	15 歳未満 の人口	15 歳以上 65 歳未満 の人口	65 歳以上 の人口	総人口に対する 65 歳以上の人口の 割合(%)
2005	196	28	124	44	22.4
2000	195	29	127	39	20.0
1995	195	32	129	34	17.4
1990	193	35	129	29	15.0

[総務省統計局公表資料から]

問 1 岡山県の 2005 年の 15 歳未満の人口は、1990 年の 15 歳未満の人口の何%になっているか。

問 2 1990 年を $x=0$ として、1990 年から x 年後の各年の「総人口に対する 65 歳以上の人口の割合」を y とする。上の表を見て、1990 年、1995 年、2000 年、2005 年について、それぞれの x, y の値の組を座標とする点を解答欄に書き入れなさい。

問 3 y が x の 1 次関数で、そのグラフが 2 点 $(0, 15)$, $(10, 20)$ を通るとき、この 1 次関数を求めなさい。

問 4 問 2 のとき、書き入れた点は、ほぼ 1 つの直線上に並ぶので、 y は x の 1 次関数とみることができる。問 3 で求めた式をその 1 次関数の式と考えると、2010 年の「総人口に対する 65 歳以上の人口の割合」を予測する方法を説明しなさい。

- 3 Aya は高齢化問題について調べていく中で、関連する本を見つけた。その本の一部である次の文章を読んで問1～問4に答えなさい。

※著作権の関係により、文章は省略

(出典 榎本博明『家族心理学』)

(注)

想起：過去のことを思いおこすこと。

明暗順応：暗所から明所、明所から暗所に移動するとき、最初はまぶしさや暗さを感じるが、時間の経過とともに慣れて正常に見えるようになること。

動体視力：動いているものを見分ける能力。

曖昧：はっきりしないこと。

問1 下線部①～③を漢字に直して楷書^{かいしよ}で書きなさい。

問2 に入る最も適当な語句は(ア)～(エ)のうちではどれか。

(ア) しかし (イ) つまり (ウ) ところで (エ) なぜなら

問3 波線部で、「おもに2つに分けられる」と筆者は述べているが、(1)何が、(2)どのように2つに分けられるのか。それぞれ本文中の語句を抜き出して書きなさい。

問4 最後の段落を踏まえて、高齢者と接するときには気をつけなければならないことを具体的に挙げて、高齢者との望ましいコミュニケーションについてあなたの考えを150字以内で書きなさい。